

三位一体の主日

第一朗読 箴言 8・22-31
第二朗読 ローマ 5・1-5
福音朗読 ヨハネ 16・12-15

2025.6.15 9:30 ミサ
カトリック高円寺教会
主任司祭 高木健次神父

今日わたしたちは三位一体の主日のごミサをお捧げしております。

今日の集会祈願——最初のお祈り——にこういう言葉がありました。「聖なる父よ、あなたは、みことばと聖霊を世に遣わし、神のいのちの神秘を示してくださいました」。みことば——イエス様の出来事です——そして聖霊を遣わして、わたしたちが神様から頂いているいのちの素晴らしさを教え、支えてくださるということです。

たとえば、弟子たちはイエス様に出会ったその思い出、また復活した主に出会い愛されたその思い出を持っています。それは素晴らしい出来事であったとしても、弟子たちの人生の中で、ある時間の一点です。そして時間の経過とともに過ぎ去っていく、そういう体験ですが、その思い出を振り返る、思い起こすたびに、その過去の出来事がただもう過ぎ去ってしまったものではなくて、その思い出を通して、その時その時に力を得て元気づけられ、またどのように歩いていったら良いのかを見いだすことができる。そういう意味で過去のイエス様との体験が今も力を発揮し続けていて、今の自分たちのいのちを支え導き、成長させてくれるんだという体験をしたということなんです。

過去の思い出が、しかし過去のことでなくて今も力を発揮し続けている。それが聖霊の力。そしてその思い出の中にある素晴らしさがみことばであるイエス様の思い出。そして聖霊によって時間を超えて力を発揮し続けて、一人ひとりが父である神様から頂きたいのちと人生の歩みを支え、豊かにしてくれる。それが三位一体の経験ということが出来るわけなんです。

ということであるならば、わたしたちも一人ひとりの人生の歩みの中で、この三位一体の経験をしていると言うことができます。たとえ直接的なイエス様との出会いや宗教的な神秘体験ではなかったとしてもです。

一人ひとりの中にある良い思い出、嬉しかったことまた楽しかったこと、それを思い起こすならば、今でも、もうその出来事そのものは過去であるのに思い起こすならば、今でも嬉しい気持ちになる、また力が湧いてくるというような、そういう思い出は皆さんもお持ちなのではないかなと思うんです。それは別に特別なことではなくても、いろんな日常の一瞬の——何か誰かからかけてもらった言葉とか、楽しかったこととか。

今年の夏は中高生と青年たちが伊豆大島にキャンプに行きますけど、わたしも20代の青年の頃にかつての船橋教会の青年の仲間たちと一緒に館山に青年のキャンプに行った。そのことの思い出っていうのは、本当に楽しかったので、思い出すならば、なんかこう今でも嬉しいという気持ちになるというか、元気になる。そういうようなこと、そのレベルのことを話してるんですけど、それも聖霊の導きによって過去の体験が今も力を与え続けてくれると言っていいと思うんです。そのことによって今のいのちが支えられている。神様から頂きたいのちがより豊かに生きることができるようになっていると言えるんじゃないか。

そういうことならば自分たちもある、と皆さんもおっしゃるかもしれませんね。たとえば、高齢の方なんかがよく同じお話をされる。それも、何か嫌だったことをずっとお話しされるっていうことでもありますけど——その時の辛さから解放されていくために話すっていう面もあるけれど、良い嬉しい思い出を何度も同じようにお話しされるっていうことでもあります。それは、その過去の思い出を通して、今を生きる力を得ようとしている——そのことを直接意識はしていなかったとしても——、今を生きる力を過去の思い出話によって得ようとしていることができます。聖霊の力の助けによって今を生きる。だから、わたしたちが「もうその話は何回も聞いたよ」とか言わない方がいいと思います。むしろ一緒に——またわたしたちも——過去の思い出を語ることをためらう必要がないと思います。一緒にその良かった体験を通して今を生きる力を聖霊の助けのもとにいただくことができるわけなんです。

でも一方で、そういう良かった思い出がないっていう人もいるかもしれません。もしかしたら本当はあるのに忘れている可能性もある。あるいは本当に現実に困難の連続で良い思い出がないと言っても仕方がないという歩みをされてきたっていう方もいるかもしれません。そういう方のためには、本当に三位一体の神様が力を表してくださるように、忘れているならばその良い思い出を思い起こすことを通して今を生きる力が与えられるような過去の思い出を思い出すことができるように、またもしそれが本当でないならば、今イエス様ご自身がその体験を与えてくださるように、互いに祈り合いたいと思うんです。

わたしたちが特に神秘体験でなくても、嬉しかったこと、楽しかったこと、その体験の思い出の後ろにはイエス様がいらっしゃって、そして力を与えてくださり、その力は聖霊を通して、時間を超えていつもわたしたちを生かしてくださる。それによって父である神様から頂きたいのちを豊かにそして神様が望むように生きることができるようになっていく。三位一体のこの導きに信頼しながら、一人ひとりが今を生きる力をそれぞれの人生の中からいただくことができますように、互いに祈り合いたいと思います。